

# 平成26年度予算見積調書

課室名: 森づくり課  
 担当名: 木材利用推進担当  
 内線: 4318

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B68	古くて新しい木のエネルギー活用事業			一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	木材利用拡大対策事業費	
事業期間	平成25年度～平成29年度	根拠法令	なし				戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築	
							分野施策	040203 再生可能エネルギー活用の推進	
<p>1 事業の概要</p> <p>県のエコタウンプロジェクトに参画する市町村を対象に、昔から使われてきたが再生可能なエネルギーとして見直されている、木質バイオマスを燃料に利用するための支援を行う。</p> <p>(1) 木のエネルギー暖房機整備支援事業 900千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      木のエネルギー暖房機整備支援事業 900千円                      薪ストーブ等の木質燃料暖房機の購入・設置に要する経費の一部を助成</p> <p>(2) 事業計画                      平成25年度～29年度                      補助率 定額 上限30,000円、事業量 30台/年</p> <p>(3) 事業効果                      エコタウンプロジェクトにおいて、秩父市が取り組む「秩父産材の活用とバイオマスエネルギーへの展開」を実現するための支援であり、エコタウンの構築に寄与する。                      未利用間伐材等の林地残材の利用が促進され、木質バイオマス資源の有効活用が図れるとともに、木質バイオマスの調達の安定化が図れる。                      薪ストーブ等の木質バイオマス活用機器の導入が促進され、再生可能エネルギーの地産地消が達成できる。                      不特定多数の集客が見込める店舗や事業所に重点化することにより、多くの県民に木質バイオマス利用をPRし自主的な薪ストーブの購入につながる。                      木質バイオマスの利用量の増大が図れる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                      NPO団体等は、森林の所有者と林地残材の搬出についての協議・調整を行い、林地の集約化を担う。                      社会福祉法人がNPO法人と協同し、薪ストーブに使用する薪の販売を平成25年度から開始した。</p> <p>(5) その他                      なし</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(1) (県 定額) 市 定額・ストーブ購入者 定額</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×1.5人=14,250千円                      増員 9,500千円×1人=9,500千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額									1,500
前年額	1,500							1,500	